

委託業務特記仕様書（令和2年4月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

（徳島県HP）：「委託業務共通仕様書について」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（ウィークリースタンス）

- 第4条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組みなければならない。
- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
 - （2）マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
 - （3）フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

（Web会議）

- 第5条** 本業務は、Web会議の対象業務であり、対面による打合せをWeb会議とすることができる。
- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施を決定するものとする。決定した内容は受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。
- 3 Web会議の内容については、受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。なお、打合せ記録簿にはWeb会議の実施状況写真を添付するものとする。

1 業務の目的

本業務は、徳島県が阿南市下大野町に設置している下大野地下水位観測所を移設するもので、観測井、観測小屋及びこれに付随する測機器（水位・導電率計）の移設を行うものである。

2 業務内容

(1) 観測井移設

A層を対象とした観測井（φ300）を掘削し、A層にストレーナ加工したφ150mmの塩ビパイプ（VP150）を挿入する。さらに孔内洗浄を実施する。 ※移設位置については、設計図面を参照

(2) 観測機器・観測小屋移設

本業務で移設した観測井において、次の水位・導電率計と観測小屋を移設するとともに、データ通信ユニットも配備し、通信可能状態とすることとする。

①水位・導電率計

a) デジタル方式水位・導電率計

- ・応用地質（株）製 S & D L 水位計（Model-4631G）
- ・取付け、設定・調整を含む。

②データ通信ユニット

- ・応用地質（株）製 S & D L 各種センサーデータ無線伝送システム（i-sensor/model-4680）
- ・取付け、無線伝送システムが使用できるような設定及び調整を行い、Web 上で転送後のデータを確認すること。

(3) 設置された観測井において、次の方法によって地下水位及び塩化物イオン濃度を確認する。

①地下水位

- ・公益社団法人 地盤工学会 地盤調査の方法と解説 第2章 水位、間隙水圧の測定方法

②塩化物イオン

- ・上水試験方法 硝酸銀滴定法（モール法）

3 とりまとめ

上記移設結果をとりまとめ、報告書を作成する。